

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
ECC国際外語 専門学校	1984年2月20日	伊藤 功	〒530-0015 大阪市北区中崎西2-1-6 (電話) 06-6311-1446			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人山口学園	1983年11月22日	理事長 酒元英二	〒530-0015大阪市北区中崎西2-3-35 (電話) 06-6372-5151			
目 的	<p>本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。そのために以下の4項目をエアライン学科(エアラインコース)の学科目標として掲げている。</p> <p>① エアライン業界・企業出身の講師・専門家による理論と実学教育を通じて、最先端の情報と技術を提供することにより業界や企業が求める即戦力を伴った人材養成教育を行う。</p> <p>② 授業で得た知識・技能を空港・企業(航空会社等)などの現場で実践することにより、接客・接客実戦(経験)力を高める教育を行う。</p> <p>③ 専門知識・技能を証明する資格(ACESS検定・マナープロコール検定・中国語検定・ハングル能力検定・普通救命講習修了資格・サービス接客検定)取得教育を行う。</p> <p>④ 英語能力を磨き外国人のお客様とのコミュニケーション能力を高める実用英語教育を行う。</p>					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・ 教養	語学ビジネス 専門課程	エアライン学科 エアラインコース	2年(昼)	1984時間	平成17年文部科学 大臣告示30号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技)
	1024時間	960時間				
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
131人	155人	5人	25人	30人		
学期制度	■前期：4月1日から7月31日 ■後期：9月1日から3月31日			成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。 総合評価点が50点以上であること。	

長期休み	<p>■学年始め：4月1日</p> <p>■夏季：8月1日 - 8月31日</p> <p>■冬季：12月17日 - 1月13日</p> <p>■学年末：2月11日 - 4月上旬</p>	卒業・進級条件	<p>(卒業の要件) 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、48単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。</p> <p>(進級の要件) 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、48単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。</p>
生徒指導	<p>■クラス担任制 (有) (無)</p> <p>■長期欠席者への指導等の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任による出欠確認 ・担任面談 ・保護者会 ・電話による対応 ・HRでの全体指導 	課外活動	<p>■課外活動の種類</p> <p>スポーツ大会・英語スピーチコンテスト・夏期英語集中プログラム・ハロウィン仮装フェスティバル・駅伝大会・文化祭(地球祭)・海外語学留学(英国・韓国、等)・プレゼンテーションコンテスト・春期就職活動プログラム</p> <p>■サークル活動 (有) (無)</p> <p>硬式野球部・バレーボール部・フットサル部・バスケットボール部・軽音楽部・コーラス部・駅伝サークル等</p>
就職等の状況	<p>■主な就職先、業界</p> <p>航空業界 (7全日本空輸、ジェイエア1、JALスカイ、JALスカイ大阪、ANAエアポートサービス、ANAスカイビルサービス、ANA成田エアポートサービス、ANA関西空港、ANA中部空港、ANA福岡空港など)</p> <p>■主な就職先、業界等</p> <p>航空業界</p> <p>■就職率 100%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 100%</p> <p>卒業者51名、 就職希望者51名 就職者51名</p> <p>(平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>AXESS検定・マナープロコール検定・中国語検定・ハングル能力検定・普通救命講習修了資格・サービス接遇検定・実用英語検定・TOEIC・Word文書処理技能検定・Excel表計算技能検定</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者 10名 ■中退率 7.6 %</p> <p>平成 27年 4月 01日在学者 132 名 (平成27年4月入学者を含む)</p> <p>平成 27年 3月 31日在学者 122 名 (平成28年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>進路変更・学業不振・家庭の経済的な問題</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>担任面談の実施(年3回)・出席管理・保護者会の実施</p>		
ホームページ	URL: http://kokusai.ecc.ac.jp/		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程編成委員会を設置し航空業界に関する企業、団体等との連携体制を強化し、授業科目やカリキュラムの更なる充実を図る。

本校教職員のみならず航空・観光業界に精通した協会および企業等より委員を選任し、以下の項目に関して改善を積極的に実践する。

1. 授業内容・学習成果・進路成果を分析し、改善策を協議する場とする。(→現状カリキュラムの長所を更に伸ばす為、短所を改善する為)

そのために教育課程編成委員会に以下の情報を提供する。

学生アンケート(年に2回)を実施し、授業内容・進路内容・学校生活等を分析し協議する。

2. 企業・業界からの新たなニーズや要望を受け入れカリキュラムや実習・講演会などに組み込めるか協議する場とする。(→新たな着眼点を広げ方策を検討する)

そのために教育課程編成委員会に以下の情報を提供する。

就職先企業よりモニターリングを行い、職業人として必要な要素や課題を分析し協議する。

3. 教職員のスキル(専門知識/技術)と指導力の向上を図るために研修体制を継続的に行うために情報共有する場とする。(→教職員の質の向上を図るための方策を検討する)

そのためには委員会に以下の情報を提供する。

教職員アンケート(年2回)を実施しその情報を基に、企業研修(インターンシップ)の事前教育、研修期間中、事後教育における企業との連携・調整の改善を協議する。

4. 教育課程編成委員会で協議された内容を学内カリキュラム編成委員会で検討し、次年度以降の実際のカリキュラムや学校事業に組み込む、採用できない場合はその背景をまとめ第2回教育課程編成委員会で報告し了解を得る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月11日現在

名前	所属
三橋 滋子	一般社団法人日本添乗サービス協会 専務理事
明松 克司	バイエリアサービス株式会社 代表取締役
西出 由佳	株式会社Kスカイ

(開催日時)

第1回 平成28年9月10日 13:00~14:30

第2回 平成29年1月20日 13:00~14:30 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

1. 企業等との連携による実習・演習等の目的

- ・業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。
- ・業界での現場体験することにより、接客実戦(経験)力を高める。企業等と連携して実習・演習を行う。

2. 企業等との連携による実習・演習等の運営

- ・企業等との連携による実習・演習等は本校教員と企業等から派遣された担当者が共同して実施する場合と、企業等から提供されたカリキュラム及び教材をもとに本校教員が授業を実施する場合がある。
- ・実施された実習・演習等については教務責任者、コース担任及び教育課程編成委員会で内容を検証し改善を図る。

3. 企業等との連携による実習・演習等の評価

- ・本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。
- ・カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。

科目名	科目概要	連携企業等
マナープロトコール 検定対策 I B	マナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識を身につけ、真の国際人として世界で活躍できるエアライン業界では必須の「マナープロトコール検定」を学習し、まずは3級の取得を目指します。	特定非営利活動法人（NPO 法人） 日本マナー・プロトコール協会
AXESS検定対策 I B	航空会社で広く活用されている JAL 予約システム AXESS を使って、予約発券操作を習得し、検定合格を目指します。・航空業基礎知識・各種コード（月コード・空港コード・国コード・航空会社コード）・空席照会からの予約・旅客名（ヘボン式ローマ字）の入力・予約記録完成・予約の変更業務・座席指定・便名指定の予約・スケジュール照会	株式会社アクセス国際ネットワーク
エアライン就職対策 I B	自己分析、履歴書・エントリーシート作成から第一印象のブラッシュアップまでエアライン受験突破に必要なスキルを修得します。（1）カリキュラム内容・授業内容・進行に関する助言（2）コースに関連する教員に対する研修（3）成績評価等に関する助言等	ベイエリアサービス株式会社

3. 教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

研修については講師を本校に迎え入れて教員全員が同時に受講する全体研修と、一部の教員が参加する外部研修を適時組み合わせる。一部の教員が参加する外部研修については、その研修内容について報告会を実施するなどして教員全体へその情報を伝える。

4. 学校関係者評価

（学校関係者評価委員会の全委員の名簿）

平成 28 年 9 月 10 日現在

名前	所属
三橋 滋子	一般社団法人日本添乗サービス協会 専務理事
明松 克司	ベイエリアサービス株式会社 代表取締役
小椋 圭一郎	社会福祉法人博愛社
下西 由子	セントレジスホテル大阪
塩谷 典子	株式会社 TEI 大阪支店
前田 雅範	済美福祉センター連合運営委員会
上野 篤郎	神戸大学経済学部（本校卒業生）

（学校関係者評価結果の公表方法）本校ホームページで情報を提供します。

URL: <http://hello.ecc.ac.jp/gakuen/outline/self-evaluation/pdf/kokusai-school-201502.pdf>

5. 情報提供

（情報提供の方法）

本校ホームページで情報を提供します。

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程エアライン学科エアラインコース) 平成25年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			Listening&Speaking IA	英語を母国語としない人にとって最も効果的だと言われているティームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師が担当)で、コミュニケーション能力を磨きます。	1/前	64	4	△	○	
○			Listening&Speaking IB		1/後	64	4	△	○	
○			Grammar Composition IA	語学の基礎となる英語のルール(文法)を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	1/前	96	6	○	△	
○			Grammar Composition IB		1/後	64	4	○	△	
○			Reading IA	英文の構造(ポイントを書く箇所、よく使うキーワードなど)を学び、少量読んで効率良く情報を得るテクニックを身につけます。	1/前	32	2	○	△	
○			Reading IB		1/後	32	2	○	△	
○			STEP/TOEIC 対策 IA	英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラス。	1/前	96	6	△	○	
○			STEP/TOEIC 対策 IB		1/後	64	4	△	○	
○			エアラインリサーチ	航空業界基礎知識を学び、旅客運送の理解を深めます。なお、採用傾向や各社の企業研究、職種研究も行います。	1/前	32	2	○		△
○			エアライン就職対策 IA	エアライン就職とはどのようなものか基礎を学びます。また航空業界で求められる人材について考察します。	1/前	32	2	○		△
○			エアライン就職対策 IB	自己分析、履歴書・エントリーシート作成から第一印象のブラッシュアップまでエアライン受験突破に必要なスキルを修得します。	1/後	32	2	△	○	
○			エアライン面接対策	グループ面接、グループディスカッションなど様々な形式の面接に対応した対策を行ないます。また志望企業別に対策を行ない、面接官の視点からのアドバイスをします。	1/後	32	2	○		△
○			ロジカルシンキング	エアライン業界で働くために必要な筋が通り、理路整然としている、論理的な思考法について学びます。	1/前	32	2	○		
○			美しい日本のマナー IA	言葉遣いや立ち居振る舞いといった航空業界を目指す人としての「内面」を磨く学習で	1/前	32	2	○		△

				す。本格的に始まる就職活動までに矯正していきます。						
○			社会時事	最新の社会の出来事や時事用語を押さえ、ディスカッションおよび小論文にて自分の考えをまとめられることを目標とし、難関の航空業界筆記試験突破を目指します。	1/後	32	2	○		
○			エアライン筆記対策(理系) IA	航空会社の就職筆記試験において出題頻度の高い数学の問題を選出した ECG オリジナルテキストを用い解き方や考え方を指導します。SPI 対策としても役立つ授業です。	1/前	32	2	○		
○			エアライン筆記対策(理系) IB	航空会社の就職筆記試験において出題頻度の高い数学の問題を選出した ECG オリジナルテキストを用い解き方や考え方を指導します。SPI 対策としても役立つ授業です。	1/後	32	2	○		
○			マナープロトコール検定対策	マナーやプロトコール(国際儀礼)に関わる知識を身につけ、真の国際人として世界で活躍できるエアライン業界では必須の「マナープロトコール検定」を学習し、まずは3級の取得を目指します。	1/後	32	2	△	○	
○			AXESS 検定対策	広く活用されている JAL 予約システム AXESS を使って、予約発券操作を習得し、検定合格を目指します。	1/後	32	2	△	○	
○			地域貢献入門	地域の課題について目を向け、課題解決の為の手法を学びます。状況に応じ、地域パートナーと連携をとりながら、学習に取り組みます。	1/前	32	2	○		△
○			地域貢献実践		1/後	32	2	○		△
		○	キャビンアテンダントスタディ IB	ブリーフィング、機内アナウンス、drink サービス、誘導・案内業務、保安業務などを想定したロールプレイ(日本語・英語)を通じて、業務内容を理解し、実践力や現場での臨機応変な職務対応能力を養い、接客力を伸ばします。	1/後	32	2	△	○	
		○	グラウンドスタッフスタディ IB	旅客運送の基礎知識を学ぶ。搭乗手続きを行なうチェックインカウンター、搭乗口、到着/乗り継ぎ等の場面において航空業界用語の解説も含め仕事の内容を学んでゆく。カウンター対応などを想定したロールプレイ(日本語・英語)やアナウンスの講義も実施し、現場に即した対応能力を養う。	1/後	32	2	△	○	
○			パソコン演習(Word) IA	ビジネスで求められるパソコンスキル(Microsoft Word/Exce)の基本操作を習得し、検定合格も目指します。	1/前	32	2	△	○	
○			パソコン演習(Excel) IB		1/後	32	2	△	○	
○			Listening&Speaking II A	英語をスムーズに運用できるよう、リスニングとスピーキングの応用力を身につけます。	2/前	64	4	△	○	
○			Listening&Speaking II B		2/後	64	4	△	○	

○		Grammar Composition II A	語学の基礎となる英語のルール（文法）を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2/ 前	64	4	○	△	
○		Grammar Composition II B		2/ 後	64	4	○	△	
○		Reading II A	英文の構造（ポイントを書く箇所、よく使うキーワードなど）を学び、少量読んで効率良く情報を得るテクニックを身につけます。	2/ 前	32	2	○	△	
○		Reading II B		2/ 後	32	2	○	△	
○		Culture II A	国別に基本情報、言語、歴史的名所などをカバーするだけでなく、豆知識やあまり知られていない事実にも触れていきます。	2/ 前	32	2	○	△	
○		Culture II B		2/ 後	32	2	○	△	
○		TOEIC 対策 II A	英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラス。	2/ 前	64	4	△	○	
○		TOEIC 対策 II B		2/ 後	64	4	△	○	
○		エアライン就職対策 II A	自己分析を深め、実際のES、履歴書などを仕上げていきます。また、実際に募集のあった企業についての研究も行います。	2/ 前	32	2	○		△
○		エアライン面接対策 II A	グループ面接、グループディスカッションなど様々な形式の面接に対応した対策を行ないます。また志望企業別に対策を行ない、面接官の視点からのアドバイスをします。	2/ 前	32	2	○		△
○		社会時事 II A	最新の社会の出来事や時事用語を押さえ、ディスカッションおよび小論文にて自分の考えをまとめられることを目標とし、航空業界筆記試験突破を目指します。	2/ 前	32	2	○		
○		社会時事 II B		2/ 後	32	2	○		
○		エアライン筆記対策（理系） II A	航空会社の就職筆記試験において出題頻度の高い数学の問題を選出した ECG オリジナルテキストを用い解き方や考え方を指導します。SPI 対策としても役立つ授業です。	2/ 前	32	2	○		
○		ロジカルシンキング II A	エアライン業界で働くために必要な筋が通り、理路整然としている、論理的な思考法について学びます。	2/ 前	32	2	○		
○		手話 II A	視覚的な言語である手話を学ぶことによって基本的なコミュニケーション技術を学習し、接客業等に役立てます。	2/ 前	32	2	△	○	
○		手話 II B		2/ 後	32	2	△	○	
○		ユニバーサルサービス接客術 II B	ユニバーサルサービスとは、子供から大人・高齢者等あらゆる人に対して公平な情報サービスを提供する事です。あらゆる人に対し「おもてなしの心」をもって対応する力を習得します。	2/ 後	32	2	△	○	
○		日本文化 II B	お盆・お正月を中心に、日常生活で当たり前になっている日本を、英語という違った角度から学習して、日本語で理解した日本を英語で説明できるようにします。	2/ 後	32	2	△	○	

○		エアライン卒業制作	2年間の集大成としてエアライン業界で働く意味を考え、参加者に喜んでもらえるプログラムを企画・運営します。	2/ 後	32	2	△	○	○
○		ビジネスマナーⅡB	1年次に続き、マナー・プロトコルの学習を通し社会人としてのマナーを学習します。また、マナー・プロトコル検定準2級の取得を目指し学習します。	2/ 後	32	2	○		
	○	中国語ⅡA	時間の言い方や時間の長さを表す語、乗り物に乗る時に必要な用語を学び、更にボキャブラリーを増やしていきます。中国語検定準4級の取得に向けて学習します。	2/ 前	32	2	△	○	
	○	中国語ⅡB		2/ 後	32	2	△	○	
	○	韓国語ⅡA	様々な場面で使えるハングル力を体得していきます。ハングル検定5級に続き、4級取得に向けて学習します。	2/ 前	32	2	△	○	
	○	韓国語ⅡB		2/ 後	32	2	△	○	
合計			56科目	1984単位時間(124 単位)					